



☆ 星ヶ城の清掃活動 ☆

十一月二十七日(土) 午前八時半より、

吉田町ボランティア協会の皆様の協力を頂き、郷野コミュニティ協議会の役員の方々を含め総勢約五十名による、台風二十三号で倒壊した山頂の休憩所等の撤去作業、登山道の草取り武家屋敷、便所の掃除など十一時半頃まで手も休めず懸命の作業が行われました。台風の被害も山全体に及び、松の倒木は強風が吹き抜けた方向を物語っています。しかし山間の色鮮やかな紅葉の美しさにボランティア協会の方々も感嘆され、今度は次の季節に又作業にきたいとのこと。今後植樹など根気強い整備が必要と思われれます。

今朝よりホームテレビがこの日の活動取材に見え、十一月九日(木)午後四時五十分からの番組(リステーション)で五時五十分前後に放映されるそうです。ご覧下さい。

終了後、郷野女性会役員さんの心尽くしのおしるこ、コーン等に疲れも癒されました。

地域づくり先進地『福岡県宗像市』視察研修報告

視察日：平成16年8月27日(金)～28日(土)
研修会場：福岡県宗像市自由ヶ丘コミュニティ・センター
参加者：川角一郎・平林昭男・山口康文・波多野邦彦(敬称略) 植山義夫・立田昭昌・波多野和子・奥田美津子
新川辰二・下広浩美・土居野 薫・前重昌敬
大田典二・下甲英昭・福田 進・松永 繁
市地域振興課長 今田基良・同係長 大野泰典
(計18名)



行程：27日 高田郡農協野支所前(7:45)出発～宗像市役所前『かのこゆり』にて昼食(12:00)宗像市コミュニティ・センター自由ヶ丘会館にて研修会(13:19～16:00)

小倉市『プラザホテル北九州』に着(5:30)宿泊
28日 ホテル(8:55)発～門司港レトロ散策(9:20～10:43)～下関唐戸市場にて昼食(11:04～12:52)～郷野帰着(4:20)

『宗像市自由ヶ丘コミュニティ・センターでの研修概要』

テーマ『地域づくり』

- (1) 宗像市の人口9万3千人。自由ヶ丘地区の人口15,004人、世帯数5,281戸(参考一吉田町の人口11,740人、世帯数4,680戸)
- (2) 宗像市の総予算544億円
- (3) 宗像市自由ヶ丘地区は昭和40年代初頭に開発されたベッドタウンで、集合住宅より一戸建ての方が多しい。
- (4) 地域づくりのモデルケースは、地元の元リーダー(区長)が提唱したものである。
- (5) 自由ヶ丘コミュニティ運営協議会は地理的には9つの区分から成る区会を含み、公民館活動部会、青少年育成部会などコミュニティ組織内には5つの部会がある。
- (6) 区会活動の例としては、青葉台1区と青葉台2区で『青葉台夏祭り』を去る8月21日(土)に開催している。この両区の人口は合わせて2,597人で世帯数675戸。(参考一郷野地区の世帯数568戸)尚、9区全体の平成15年度予算額は390万円。
- (7) 自由ヶ丘コミュニティ運営協議会の活動内容は「まちづくりワークショップ」や運営委員会(郷野地区コミュニティに於ける総務会)を通じての地区コミュニティ活動の政策決定。自由ヶ丘会館での「文化祭・健康相談」などの公民館活動。区長会・各部会のまとめ役などらしい。
- (8) 自由ヶ丘コミュニティ運営協議会で自由に使える金は、新規事業補助金100万円を含めた150万円である。因みに平成15年度自由ヶ丘コミュニティの総予算額は2,377万円で、その内人件費が1,000万円。
- (9) 上記の金額が示す通り、コミュニティ運営協議会は仕事をする組織ではなく「その会長である私は『象徴天皇』に類似している」と若木久明氏は言われた。
- (10) 宗像市に於ける自由ヶ丘地区コミュニティ協議会を含めた、各コミュニティ協議会に支払われる人件費を含めた総予算額は、自由ヶ丘のように15,004人の地区でも1万人未満の地区でも同一である。人口が多いコミュニティはそれだけ役員の仕事キツくなるので予算を各コミュニティに配分するおりの市側の配慮がほしいとのこと。
- (11) 自由ヶ丘コミュニティ運営協議会は総会資料では一つの扱いになっているが、実際は各部会を含んだコミュニティと区長会の二層構造である。

【地域づくり先進地研修会での感想】

- (1) 福岡県宗像市は吉田町近辺で言うと、安佐北区可部町あたりのイメージ。
- (2) 信じにくい事だが、この宗像市でも少子高齢化が進んでいるらしい。
- (3) 宗像市自由ヶ丘コミュニティ運営協議会会長の若木久明氏は、自分のことを『象徴天皇』に類似していると言われたが、機関紙(自由ヶ丘地区コミュニティ広場)を2ヶ月に1回発行。[コミセン(コミュニティ・センター)だより]月1回発行。さらに[自由ヶ丘まちづくり広報]の発行など、広報活動だけでも相当の活動量が見込まれ、なかなかの仕事師である。
- (4) 行政としての宗像市は各区長、あるいはコミュニティ各部会から別々に出ている様々な要望、要求の流れをコミュニティを仲介機関とする事で一本化したいらしい。
- (5) 自由ヶ丘地区の行事とか、イベントの内容を見てみると、外部から人を呼ぶというよりは、地区内のそれへの参加人員の増加を計る方向への努力がなされている。

平成16年8月31日 郷野地区コミュニティ推進協議会 副会長 松永 繁 記入



登山道の新築中 T.V取材中



倒壊した山頂の休憩所

水辺の築枝ニュース

竹炭水質浄化現地体験

十一月一日(金) 国土交通省三次河川国道事務所による竹炭水質浄化現地体験会が、共北・備北地域又近隣の町より行政の建設課担当者 郷野コミュニティの役員、郷野小学校の児童(5年生)等、総勢七十名の参加者で開催されました。成徳課程の説明を水戸節二さんがされ、芝生広場に移動して国土交通省の方より、炭による水質浄化の仕組み等の説明後、江の川への排水路の水と、竹炭の浄化装置を通した水との比較を児童が「バックテスト」という検査方法で水質の変化を体験学習しました。



排水路での水質検査の様子

漢詩への誘い (一)

結婚を賀す

松口月城 作

婦となり 夫となるは惟 宿縁 同心一体 天に希かず
人生の行路 是容易ならんや 永久に迷うこと勿れ 貞と賢と
医師であり作詞家であった作者が、結婚する若い二人に送った詩である。平易な詩なので、意味は解ると思いますが、結婚式等で吟じられます。

云峰吟詠会 稽古日 会公民館集

毎週(第一・三)木曜日 夜八時～十時 (早城支部)
毎週(第二・四)土曜日 昼一時半～三時半 (早郷教室)